

## 飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び 執行の状況の点検及び評価の結果

- 1 点検及び評価を行った期日                      平成30年8月29日（水）
  
- 2 点検及び評価の会議を行った場所              飛騨市役所 西庁舎3階 大会議室
  
- 3 点検及び評価を行った会議                      平成30年第7回教育委員会
  
- 4 点検評価委員（7名）  
古川西小学校学校評議員、宮川小学校学校評議員  
飛騨市PTA連合会会長、同母親代表  
社会教育委員長、飛騨市体育協会会長、飛騨市文化協会会長
  
- 5 点検及び評価を行った会議に出席した者  
（飛騨市教育委員会）  
    教育長 沖畑 康子  
    委 員 田口 力三  
    委 員 吉木 直美  
    委 員 平澤 千人  
（説明のため出席した飛騨市教育委員会事務局職員）  
    事務局長        清水 貢  
    教育総務課長 岸懸 貴則  
    学校教育課長 下出 尚弘  
    生涯学習課長 米澤 智  
    文化振興課長 大庭 久幸
  
- 6 点検及び評価の対象事務  
    飛騨市教育委員会の権限に属する平成29年度の事務
  
- 7 点検及び評価の方法  
    飛騨市教育委員会事務局点検評価実施要領（平成21年飛騨市教育委員会訓令第1号）  
    第3条の規定により、飛騨市教育委員会事務局各課が第1次評価した「飛騨市教育委  
    員会事務局点検評価資料」により、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和3  
    1年法律第162号）第26条第2項の規定に基づく飛騨市教育委員会事務局点検評価  
    委員会を開催し、教育に関し学識経験を有する者からの意見聴取を行った後、平成3

0年8月29日開催の平成30年第7回教育委員会において、平成29年度の飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行った。

- 8 飛騨市教育委員会が飛騨市教育委員会事務点検評価委員会に意見聴取を行った  
期日及び場所

第1回 期日 平成30年8月3日（金）  
場所 飛騨市役所 3階 大会議室  
第2回 期日 平成30年8月22日（水）  
場所 飛騨市役所 3階 大会議室

- 9 飛騨市教育委員会事務点検評価委員会の飛騨市教育委員会に対する意見  
飛騨市教育委員会の権限の属する平成29年度事務の点検及び評価については、飛騨市教育委員会事務局各課が行った第1次評価のとおりであることを認める。

- 10 点検及び評価の結果

別紙「平成29年度飛騨市教育委員会事務点検評価結果」のとおり

# 平成30年飛騨市教育委員会事務点検評価結果

平成29年度教育委員会の活動状況 点検評価シート

平成29年度事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

## 点 検 評 価 シ ー ト の 目 次

担 当 課	事 務 事 業 名	評 価	事 業 番 号
教 育 総 務 課	教育委員会活動、教育委員会事務点検評価委員会活動	A	1
	小中学校施設整備事業	A	2
	飛騨市育英基金貸付事業	A	3
	スクールバス運営事業	A	4
	学校給食運営事業	A	5
学 校 教 育 課	「ふるさと飛騨市」改訂版作成事業	A	6
	ふるさと教育推進事業	A	7
	教職員研修・児童生徒体験学習事業	A	8
	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業	A	9
	部活動各種大会補助事業	A	10
生 涯 学 習 課	家庭教育推進事業	A	11
	飛騨市青少年育成推進事業	A	12
	飛騨市子ども会育成事業	A	13
	飛騨市生涯学習推進会議	A	14
	各種講座・学級の開催事業	A	15
	スポーツ推進委員活動事業	A	16
	スポーツ行事推進事業	A	17
	スポーツ団体育成事業	A	18
ノルディックウォーキング推進事業	A	19	
文 化 振 興 課	図書館機能充実事業	A	20
	美術館企画展・関連ワークショップ事業	A	21
	地域歴史資源活用事業	A	22
	文化芸術振興事業	A	23

様式第1号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 1)

飛騨市教育委員会

項 目		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
教育委員会 会議の状況	会 議	【審議件数】 議案 44件、報告 6件 承認 25件、合計 75件	学校経営を始めとする教育全般について議論を重ね、審議することにより、教育行政の質の向上を図ることができた。	A
	協議会	【開催回数】 9回 【主な内容】 ・飛騨市立中学校卒業生の進路先について ・全国学力・学習状況調査の結果について ・教育委員会予算の方針と主要事業について ・各種後援名義等の使用許可報告について	各種教育関連の案件について協議を重ね、市が目指す教育行政について、より良い方向付けを図ることができた。	
	事務点 検評価 委員会	【事務点検評価委員会の開催】 ・日時 平成29年8月7日、22日 2回開催 ・内容 教育委員会事務局が行った第1次評価に対する審議と意見聴取 【事務点検評価の最終評価】 ・平成29年8月31日開催、平成29年第7回教育委員会において最終評価 ・議会への報告 平成29年9月4日	教育委員会の事務事業の内容について、第三者で構成する点検評価委員会により点検・評価することで、問題点を見つけ出し改善目標を明確化して次年度の施策につなぐことができ、教育行政の質の向上を図ることができた。	
教育委員の 調査活動状況等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の入学式、卒業式への参列</li> <li>・小中学校の学校訪問</li> <li>・小中学校の運動会、体育祭の参観</li> <li>・教育委員会委員研修（白川町佐見中、可児市金山城跡）</li> </ul>	授業参観や学校行事への参加により、教育現場での児童生徒や教職員の課題等の実態が把握でき、教育委員会委員としての資質向上につながるるとともに、教育行政の審議に大いに寄与することができた。	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 2)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
快適な教育環境の整備	学校施設の整備(小中学校整備事業)	<p>小中学校体育館非構造部材耐震補強事業</p> <p>各小中学校の体育館について、天井材や照明設備等の非構造部材の耐震化を図る。</p>	教育総務課	<p>[H29決算額] 2,024千円 (繰越額 80,933千円)</p> <p>(耐震補強工事) 80,933千円 ※補正予算計上、H30に繰越</p> <p>○古川中学校体育館非構造部材耐震化工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天井板撤去及び照明設備改修工事</li> <li>ガラス剥落飛散防止工事</li> </ul> <p>○神岡中学校体育館非構造部材耐震化工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天井板撤去及び照明設備改修工事</li> <li>ガラス剥落飛散防止工事</li> </ul>	<p>平成30年度に実施予定の古川中学校、神岡中学校の二校において、国の補助金枠の拡充により、予定を前倒しして、補助申請を行い予算を繰越して、平成30年度に工事を行うよう進めた。 【概算全体事業費 203,000千円】</p>	A
		<p>神岡小学校大規模改修事業</p> <p>昭和61年建設の神岡小学校校舎の老朽化が顕著となったため、大規模改修工事を行う。(平成32年度改修予定。)</p>		<p>(現況調査) 2,024千円</p> <p>○神岡小学校外壁等調査事業委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神岡小学校外壁調査</li> </ul>	<p>平成29年度は、設計を行うための建物の現況調査を行い、平成30年度に予定している改修工事設計の基礎資料を作成した。</p> <p>近年の猛暑を受けて各学校の教室に空調機を設置するよう進めていく必要が生じているが、限られた財源の中で適正に順序付けして進めていく。</p>	

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 3)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域が 一体とな った青少 年健全育 成の推進	将来を担 う人材育 成（飛騨 市育英基 金貸付事 業）	飛騨市育英基金貸付事業	教育 総務課	〔H29基金総額〕449,500千円		A
		<p>飛騨市の将来を支える若者が、財政的な心配なく、勉学に励む目的で設立された制度。</p> <p>拡充制度導入の検討</p> <p>学費が賄えず進学を断念する優秀な若者を支援するため、低所得者がより利用しやすい制度の拡充を図る。</p>		<p>H29年度基金積み増し 1億円</p> <p>貸付総額 297,824千円 現 金 151,676千円</p> <p>H29貸付額 57件 32,760千円</p> <p>H29償還額 148件 56,199千円</p> <p>貸付件数57件の内 新規案件 13件 償還免除対象 3件</p>	<p>例年の貸付業務に加え、低所得者向けの償還免除制度について検討、制度化を実現した。平成29年度貸付分からその運用を開始し、育英基金の制度拡充とともに利便性の向上を図っている。</p> <p>平成26年度において償還期限を2倍から3倍に延長したこと及び、平成29年度貸付分から低所得者向けの償還免除制度が始まったことから、今後10年間を目途に所要額の基金積み増しを行った。</p> <p>現在の奨学金制度は、学費のみを対象とした支援であるが、低所得者層にとっては、進学時の生活費も大きな負担になってくる。そのことを踏まえた貸付枠の拡充について検討を進める必要がある。</p>	

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 4)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
快適な教育環境の整備	スクールのバスの整備運営（スクールバス運営事業）	<p>スクールバス運営事業</p> <p>小中学生における登下校の運送のほか、フリーバスとして市民の生涯学習活動等にも利用されている。</p>	教育総務課	<p>〔H29決算額〕 98,443千円</p> <p>○スクールバス運行委託 76,935千円</p> <p>○フリーバス運営事業 ・利用回数24回 利用人数666人</p>	<p>一年間安心・安全なスクールバス運行に努め、運用上大きな事故も無く、安全にスクールバスとしての役割を果たすことができた。</p> <p>平成29年度から、従来の夏休みにおけるプールバスのほか、新たに各学校で定める補完学習日（5日限度）の登校にスクールバスを運行し、利便性の向上を図った。</p> <p>またフリーバスの運行についてもフレキシブルに対応し、利便性の確保にも努めた。</p>	A
		<p>スクールバス更新事業</p> <p>老朽化したスクールバスを更新基準（購入後15年以上経過・走行距離20万km以上）に従い、更新購入し、安全・安心な通学手段の確保を図っている。</p>		<p>○車両購入費 17,928千円</p> <p>・29人乗りマイクロバス 2台</p> <p>・河合町稲越車、宮川町1号車</p>	<p>運用車両の更新について、更新基準に基づき車両の更新を図り、児童生徒の安心の確保に努めた。今後についても順次適正な更新を進めていく。</p>	



事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 5)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域の食文化を活かした安全な学校給食の提供	安全・安心な学校給食の提供 学校給食施設の整備運営	安全・安心な学校給食の提供	教育総務課	○安全・安心な学校給食の提供 145,607千円 (主な内訳) ・賃金(8人)・燃料費・光熱水費 ・古川給食センター負担金  (給食延べ食数) 神岡給食センター 113,887食 河合給食センター 15,928食 山之村給食センター 5,437食 (参 考) 古川国府給食センター 338,184食 (古川町部分のみ)	食中毒等の大きな事故が無く、安心・安全でおいしい給食を提供できたことが一番の成果である。 アレルギー対応も行っており、手間のかかる作業ではあるが安全・確実に提供している。 また、平成29年度から、農林課と協同で地元食材を使用した「ふるさと給食の日」を企画し、子供たちに地産地消の大切さを学んでもらうことができた。 近年、調理員不足が課題となっており、現状職員の努力でこなしてはいるが、処遇改善等を進める必要がある。	A
		学校給食施設の整備運営		○給食施設の設備更新 3,218千円 真空冷却機 2,592千円 ほか  ○給食費特別会計 35,041千円	日々のメンテナンスはもとより、早め早めの修繕や部品交換により、衛生上及び作業上の安全に努めた。  食材等の値上がりにより、限られた予算内での給食提供は厳しいものがあるが、メニューの工夫や調理方法の改善等の努力により、安全・安心な学校給食の提供が行われた。	

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 6)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな身体づくりの推進	ふるさとを愛する心の育成	<p>「ふるさと飛騨市」改訂版作成事業</p> <p>9年前に小学校社会科資料「ふるさと飛騨市」発刊後、社会情勢の変化や教科書改訂にともない内容の見直しが必要となった。小学校3年以上の子どもたちが、社会科授業で活用するとともに、家族と一緒に手に取り親しみをもって活用できる内容・構成に改訂編集するため、飛騨市学習資料作成検討委員会を設置し、改訂内容について検討・編集を行い、新しい「ふるさと飛騨市」を発行する。</p>	学校教育課	<p>〔決算額〕 1,367千円</p> <p>「ふるさと飛騨市」改訂版作成のため、委員12名による作成検討委員会を6回開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 6/23</li> <li>・第2回 9/22</li> <li>・第3回 10/20</li> <li>・第4回 11/24</li> <li>・第5回 12/15</li> <li>・第6回 2/9</li> </ul> <p>平成30年2月発刊 4月贈呈 「ふるさと飛騨市」改訂版を作成して1000部を発刊。飛騨市より市内小学校3年生～6年生の全児童739人に贈呈した。</p> <p>メディア掲載実績 河合小学校 改訂版を市長から贈呈 平成30年4月27日 中日新聞</p>	<p>○地域の歴史や民俗文化に造詣の深い学識経験者を委員に選任したことで幅広い視点からの原稿の見直しや資料の選定を行うことができた。</p> <p>○平成32年度完全実施の次期小学校学習指導要領の内容を踏まえ、より教科書の内容に準拠したものになった。ページ数もこれまでの105ページから205ページに増加、写真もカラー写真を増やし、量・質ともに充実することができた。</p> <p>◎小学校3年生から6年生までの社会科の授業で有効活用できるようにする。そのために、今後、飛騨市教育研究会の社会科部会を中心に「ふるさと飛騨市」を活用した授業研究の実施、「ふるさと飛騨市」の内容をベースにした「ふるさと飛騨市検定」の実施を検討していく。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 7)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな身体づくりの推進	ふるさとを愛する心の育成	<p><b>ふるさと教育推進事業</b></p> <p>子ども達のふるさと飛騨市における様々な活動（体験・参加・貢献活動等）を通じて、郷土に生きる人々の思いや生き方、その価値を学び、ふるさとを愛する心を育む教育を実現するために、各小中学校の学校経営方針に基づき、地域や学校の特色を活かして地域に根ざした「ふるさと教育」を推進する。</p>	学校教育課	<p>〔決算額〕 4,227千円</p> <p>○各学校活動実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古川小 古川再発見・町めぐり、ふるさとCM制作、米づくり体験</li> <li>・古川西小 果樹園・和紙漉き等体験学習</li> <li>・河合小 ふるさと魅了再発見遠足</li> <li>・宮川小 ふるさと学習発表会、地歌舞伎匠太鼓体験、盆踊り学習</li> <li>・神岡小 チャール宮川宿泊体験、古大尽体験、感謝の会（民話劇発表）</li> <li>・古川中 春慶塗・木のベンチづくり</li> <li>・神岡中 レールウンテンバイク体験、牧場体験</li> <li>・古川中 吹奏学部地域応援隊、地域社会人職業講話、ふるさと版画作品</li> <li>・山之村小中 職場体験学習、かみかた見学</li> <li>・山之内村小中 ゆるキャラ・のぼり旗作成</li> <li>・船津座公演(山っこ獅子・きつねつり)、星を見る会、寒干し大根づくり</li> </ul> <p>・3/17地区生涯学習推進大会でパネル展示</p> <p>・3月号「広報ひだ」に各学校の取組掲載</p>	<p>○これまでの活動を踏襲するだけでなく、民話劇の発表やのぼり旗の作成など、児童生徒のふるさとに対する思いや願いに基づいた新たな取り組みが生まれてきた。</p> <p>◎各学校で予算が有効に活用されること、ふるさと学習の重要性が保護者や市民に広く理解されることが「ふるさと教育」の推進につながる。そのために、引き続き予算の有効活用については各校の事業計画に基づき、予算の範囲内で基準配分し、予算執行の見届けを確実に行う。</p> <p>◎各校は、本事業を実施する中で、子供たちの生き生きとした活動の様子や変容など、ふるさと学習の成果についてまとめ、成果発表会や学校だよりによる広報や報道機関への情報提供などを、より計画的・意図的に行い、広く保護者や市民に理解を得るようにする。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 8)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進	教職員の指導力向上・児童生徒の資質・能力の向上	<p><b>教職員研修及び児童生徒体験学習の充実</b></p> <p>子ども達一人一人の成長を支え、可能性を伸ばし、学力を向上させる視点を大切にしながら、教職員研修及び児童生徒の体験学習を充実し、教職員の資質・指導力の向上、児童生徒の資質・能力の向上を図る。</p>	学校教育課	<p>〔決算額〕 117千円</p> <p>○教職員研修会を15回開催                      ①5/22 第1回飛騨市指導力向上講座 21名                      ②6/12 第2回飛騨市指導力向上講座 8名                      ③7/5 第3回飛騨市指導力向上講座 7名                      ④8/2 市教育研究所夏季講座(学習)12名                      ⑤8/2 市教育研究所夏季講座(実技)11名                      ⑥8/2 市教育研究所夏季講座(生指) 9名                      ⑦8/2 市教育研究所夏季講座(救命) 9名                      ⑧8/4 市教育実践研究論文講座 16名                      ⑨6/21 児童生徒支援員研修(神岡) 6名                      ⑩6/29 児童生徒支援員研修(古川) 11名                      ⑪6/28 第1回学校司書研修 6名                      ⑫9/29 第2回学校司書研修 7名                      ⑬6/12 第1回教育相談員研修 4名                      ⑭6/12 第2回教育相談員研修 4名                      ⑮6/23 校務員研修 11名</p> <p>○自然体験活動「夏休みわくわく自然体験教室」8月21日実施</p> <p>○英語活動「ふるさと魅力プレゼンテーションビデオ作成」8月実施</p>	<p>○教員だけでなく児童生徒支援員、学校司書、校務員など児童生徒の学習と学校教育環境を支えるあらゆる職員が研修を積むことで総合的に学校教育力の向上に繋がり、児童生徒の学力向上の結果にも結びついている。</p> <p>○平成29年度より実施した自然体験教室では、子ども達は、退職理科講師のもと飛騨市の魅力を存分に味わうことができた。ふるさと魅力プレゼンビデオ作成の英語活動においては、今後のふるさと学習の発展とも関連する意味ある活動になった。</p> <p>○平成30年度より市単独で配置する英語指導講師や小学校教員の英語指導の向上研修の実施、英語指導講師やALT（外国語指導助手）を講師に調理実習等の楽しい取組を通して英語を学ぶ機会をつくる。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 9)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
一人一人を大切にし 一人一人のよさを伸ばす教育の推進	一人一人のよさを伸ばす教育の推進	<p><b>JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業</b></p> <p>公益財団法人日本サッカー協会のJFAこころのプロジェクト事業「夢の教室」を活用し、『夢先生』を市内小学校に招聘し、『夢の教室』授業を行う。</p> <p>夢先生が子ども達に「夢を持つこと、仲間と協力することの大切さ」をレクリエーションやトークを通して伝える。</p> <p>子ども達は、夢シートの記入や夢先生からのメッセージをもとに、さらに夢を膨らませて実現への意欲を高める。</p>	学校教育課	<p>【決算額】 540千円</p> <p>○「夢の教室」の実施</p> <p>11/30 古川小5年生 夢先生：大山加奈先生 (女子バレーボール)</p> <p>12/1 古川西小5年生 夢先生：岡里明美先生 (女子バスケットボール)</p> <p>メディア掲載実績 古川小学校 夢先生(大山加奈さん) 12月1日 岐阜新聞、中日新聞</p>	<p>○子ども達は、夢先生とのゲームや夢の実現のために取り組んだ先生の話真剣に聞き、夢についての考えや思いを膨らませた。また、夢先生からの直筆のメッセージが手渡され、心のこもった励ましのメッセージに喜び、夢の実現に向けて取り組む意欲を高めるきっかけになった。</p> <p>◎平成29年度に、古川小学校、古川西小学校の2校で実施したが、子ども達や教職員からも大変好評であったことから、平成30年度は市内の小学5年生全員を対象に開催するよう拡充する。</p> <p>◎「夢の教室」を一過性のものに終わらせず、年間のプログラムの中核的活動にすることが課題である。そのために今後、JFAと学校・教育委員会が連携して、事前・当日・事後のプログラムを検討・作成する。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号10)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
一人一人を大切にし 一人一人のよさを伸ばす教育の推進	一人一人のよさを伸ばす教育の推進	<p><b>部活動各種大会補助金</b></p> <p>各部活動で予選大会等を勝ち抜き上位大会(岐阜県大会以上)へ出場する際の交通費や宿泊費を一部補助するとともに、それ以外の大会出場及び遠征実施の際の交通費についても一部補助することで、保護者や個人の負担を軽減し、出場選手が不安なく練習・試合に取り組める環境を整える。</p>	学校教育課	<p>〔決算額〕 2,453千円</p> <p>○岐阜県大会以上の出場補助(1,217千円) 出場選手及び引率者1名分の交通費(バス借上料、道路通行料等)、宿泊費、傷害保険料、大会参加料の一部を補助する。(県大会及び東海大会出場:補助率1/2以内、全国大会出場:補助率8/10以内) 補助対象:23件(県大会14件、東海大会7件、全国大会2件)</p> <p>○上位大会(岐阜県大会以上)以外の大会出場及び遠征実施補助(1,236千円) 出場選手及び引率者1名分の交通費(バス借上料、道路通行料等)の一部を補助する。(補助率1/2以内) ※1部活動につき年間2回まで 補助対象:36件(協会主催等の大会出場26件、遠征10件)</p>	<p>○県大会以上の大会に加え県大会以外の大会出場や遠征の際の交通費の一部補助を行うことで、昨年度以上に保護者や個人の負担を軽減することができた。結果的に出場選手は不安なく練習・試合に取り組める環境が整備され、陸上競技での全国大会優勝等、例年以上の成績を収めることができた。</p> <p>◎年度途中における予算執行の見通しが立てにくいことは例年課題としてあるが、今後は、上位大会以外の大会出場及び遠征の実施については、これまでの実績をもとに1部活動につき年間2回の補助を計画的に有効に活用するよう学校に指導している。</p> <p>◎吹奏楽部の楽器について、20年を超える買い替えの必要な古い楽器が多くある。他の部活動の備品、用具と比べて高額であり、保護者の費用負担が大きいことから、学校備品として5年計画で整備を図る。</p>	

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 1 1)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成 2 9 年度の目標	担 当 課	平成 2 9 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
親の育ちを応援し地域のつながりをつくる家庭教育の推進	家庭教育の推進	<p>○乳幼児・幼児学級開催事業 市内に在住する乳幼児、幼児の子と保護者を対象に、子どもの成長にあわせた、段階的な保護者の学びの場や子と保護者の交流の場を提供し、保護者が主体となった学級の運営を通じて、保護者の学びや成長につなげる。</p> <p>○家庭教育推進事業 家庭が本来果たすべき役割を改めて見つめ直す機会となるよう、小中学生の保護者が子どもの発達段階に応じて、家庭教育の意義と役割を保護者自身が学習し、子と保護者がふれあう場を提供する。</p>	生涯学習課	<p>[H 2 9 決算額] 1,924 千円</p> <p>《乳幼児学級》 ・各町子育て支援センターで実施 登録組数組 実施回数 70 回 参加者数 延べ 208 組</p> <p>《幼児学級》 ・園児対象 各園で実施 実施回 16 回 合同講演会 1 回</p> <p>《家庭教育学級》 ・全小中学校で実施 実施回数 59 回</p> <p>乳幼児学級については、子育て支援センターの協力のもと事業を実施した。幼児学級及び家庭教育学級も予定どおり各保育園、各学校で開催された。</p>	<p>・地域ごとに特色あるテーマを取上げ、子と保護者のふれあい活動とともに、子どもたちがふるさとの素晴らしさを再確認する機会となった。</p> <p>・運営会議で在宅型活動の説明を行い、各園で少しずつ取り組めるようになった。</p> <p>・各校に家庭教育学級担当職員、各 P T A に家庭教育学級担当を置き、計画的・継続的な活動が展開された。</p> <p>【今後の方針】</p> <p>・子育て支援センター、保育園、学校の各学級での縦の連携が弱いまま事業が進められている。乳・保・小・中の連携による効果を向上させるために共通認識を持って事業を進めることとし、一同に会した協議の場を設ける。</p> <p>・幼児学級、家庭教育学級は自主性に任せているために当課との連携が薄い。連携を強化するために担当係と都度、協議・企画・報告を行う。</p>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号12)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域が一体となった青少年健全育成の推進	飛騨市青少年育成推進団体の支援 成人式の開催	<p><b>【青少年育成推進員】</b> 家庭・学校・地域の連携強化を推進員によって進め、三者がお互いに手を取り合い地域の青少年育成活動を推進する。</p> <p><b>【飛騨市成人式】</b> 「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」ことを趣旨とする。</p> <p><b>【青少年育成市民会議】</b> 市内の関係機関・団体との連携を密にし、青少年の健全な育成を図る。</p>	生涯学習課	<p>〔H29決算額〕 1,757千円</p> <p><b>【青少年育成推進員活動事業】</b> 推進員23(名)を中心に地域連携のための青少年育成連絡協議会を組織し、各町単位の部会で育成活動を実施した。</p> <p>○古川部会 会議8回 ふれあい集会開催 ○河合部会 会議4回 各種行事への参加 ○宮川部会 会議4回 各種行事への参加 ○神岡部会 会議5回 啓発活動の実施</p> <p><b>【平成30年飛騨市成人式】</b> 開催日 平成30年1月3日 (古川会場) 出席者 154名 (神岡会場) 出席者 74名 合計 228名</p> <p><b>【青少年育成市民会議】</b> ○6月11日 少年の主張大会 ○わが家わが町家庭の日発表会協力 11月12日 参加者数480名 ○「地域のおじさん、おばさん運動」加入促進運動 新規加入者 146名 ○家庭の日啓発図画 小学生1点 県へ出展</p>	<p><b>【青少年育成推進員活動事業】</b> ・各地域(4部会)において、推進員を中心に青少年の健全育成に向けて関係組織等と共通認識を持ち、連携を取りながら事業を進めることができた。 ・かわいいなかにばる、宮川町文化祭神岡飛騨獅子まつりにて青少年育成推進啓発を実施した。</p> <p><b>【飛騨市成人式】</b> ・古川、神岡の二会場で開催した。</p> <p><b>【青少年育成市民会議】</b> ・各種団体が青少年の健全育成に向け、共通認識を持つことができ連携を深めることができた。 ・生涯学習推進会議青少年部会との連携した活動、取り組みを継続して行う。</p>	A



様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号13)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域が一体となった青少年健全育成の推進	飛騨市子ども会の育成	飛騨市子ども会育成事業  子ども会の組織の発展及びにその活動の促進充実を通じて、児童生徒の健全育成を図ることを目的とする。	生涯学習課	<p>[H29決算額] 599千円</p> <p>○飛騨市内子ども会員数 古川町 1191名 河合町 75名 宮川町 25名 神岡町 366名</p> <p>○各町の行事 古川町 小学校高学年を対象とした交流会（キャンプ）を7月に開催 河合町 子ども会員を対象とした交流会（ふれあい広場）を8月に開催 宮川町 子ども会員を対象とした交流会（ふれあい広場）を10月に開催 神岡町 子ども会員を対象とした球技大会を8月に開催</p> <p>○市子ども会の活動 10月に交流会を開催し、危険予知トレーニング研修として、サバイバルランチ作り、川原遊びを実施した。この交流会は市内4町で順番に会場を変えて毎年実施している。また、6月には指導者研修会を行い、講演のほか各地区の事業紹介など指導者・育成者の情報交流も実施した。</p>	<p>・小中学生を対象にリーダー養成を目的とした行事を行い、活動の充実や児童生徒の健全育成を図ることができた。</p> <p>【今後の方針】</p> <p>・子ども会については、例年どおりの活動を行ったが、子どもの減少に伴い、単位子ども会の運営に課題を残した。子ども会活動の存続に向け、育成連絡協議会を通じた現状の把握を行い、必要に応じて単位子ども会の休止調整及び統合等も視野に今後の運営についての協議を行っていく。</p>	A

様式第 2 号 (第 4 条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 1 4)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成 2 9 年度の目標	担当課	平成 2 9 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
社会教育関係団体と人材の育成	飛騨市生涯学習推進会議の推進	飛騨市生涯学習推進会議	生涯学習課	[H 2 9 決算額] 306 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会活動で意見交換を行い、部会間の横の連携をとり、関係する団体が方向性を共有し、共通理解を図ることができた。</li> <li>・推進大会では、長年地域のために活動している団体の発表や市内小中学校の「ふるさと学習」の発表や展示により、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、地域社会の基盤の構築・活性化・活性化を図る地域づくりを推進した。</li> </ul>	A
		生涯学習関係団体と連携しながら生涯学習施策を推進するため、課題の共有と活動の共通理解を図る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営委員会の実施（4回） （5/23、9/5、1/29、2/26）</li> <li>○部会、研修会の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てネットワーク部会</li> <li>・地域ぐるみの青少年健全育成部会</li> <li>・文化・芸術振興部会</li> <li>・生涯スポーツ振興部会</li> </ul> </li> <li>○生涯学習推進大会の開催 3/17 古川町公民館大会議室 160 名参加                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てネットワーク部会の発表 「30 周年を迎えるどじょっこ劇団」</li> <li>・岐阜県ふるさと教育表彰「優秀賞」受賞校河合小学校実践発表</li> <li>・大野市（福井県）生涯学習推進会議の視察（9名）</li> </ul> </li> </ul>		

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 15)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成 29 年度の目標	担当課	平成 29 年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ライフステージに応じた生涯学習の推進	各種講座・学級の開催	<p>各種講座・学級の開催事業</p> <p>市民の「教えたい」という気持ちを具現化するため、市民提案型の公民館講座を実施する。</p> <p>名人登録を行い、情報提供を行う。</p> <p>市民のライフステージにあわせた公民館講座を実施する。</p> <p>高齢者を対象に、ふれ合いや学ぶ喜びを大切に、ふさわしい社会的能力を高める場として高齢者学級を開催する。</p>	生涯学習課	<p>[H 29 決算額] 1,760 千円</p> <p>公民館講座 32 件 参加者 533 名</p> <p>歴史講座 6 件 参加者 448 名</p> <p>自主講座 54 件 参加者 521 名</p> <p>高齢者学級 延べ 11 回開催 延べ参加者 834 名</p> <p>寿大学 6 教室 参加者 117 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古川町公民館では、自主講座を中心に事業を進め、昨年並みの実績で推移した。神岡町公民館では、夏休みの子供向けに新たな公民館講座を開催し、相応の参加を得ることができた。</li> <li>各町単位で高齢者学級を実施した。</li> </ul> <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公民館講座に対する市民ニーズを捉えるため、参加者中心にアンケートを実施し、求められている講座の開催に繋げる。さらに、講座の自主性を高めるため公民館講座から自主講座への転換を推進する。</li> <li>神岡町公民館では商工会議所の移転により使用可能な部屋が増え、公民館活動がより幅広く推進できることになったため、公民館講座の拡充を図った。</li> <li>高齢者学級の参加者も年々増えていることから、より参加しやすい学級とするためにアンケート等によりニーズの把握に努め、学級運営に反映していく。</li> </ul>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号16)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ推進委員の支援・育成	<p>スポーツ推進委員活動事業</p> <p>恒例となっている各地域におけるグラウンドゴルフ大会など軽スポーツ大会、ウォークラリー大会などの企画・運営を行うほか、総合型地域スポーツクラブの支援を含め、市の体育事業を総合的にコーディネートするとともに、スポーツ活動指導者の発掘・養成に努め、資質の向上を図る。</p>	生涯学習課	<p>〔H29決算額〕1,656千円</p> <p>○2年任期の2年目 古川町11名 河合町6名 宮川町7名 神岡町9名</p> <p>○市スポーツ推進委員代表者会議 各地区から2名 随時開催</p> <p>○各地区でスポーツ教室等開催 6/10 ふれ愛 軽スポーツ大会 8/26 スタンプウォーク 8/5 市民登山 12/3 ふれあいソフトミニバレー大会</p> <p>○各地区スポーツ行事の協力 6/3 河合町民運動会 8/6 河合町ふれあい広場 9/9 宮川町民運動会</p> <p>○研修会等への参加 6/18 飛騨市市研修会 6/24 飛騨地区前期研修会 2/16～17 東海四県研究大会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時に代表者会議を開催し、四地区の情報交換を多く行った。</li> <li>下呂市で開催された東海四県研究大会では同じ飛騨地区として協力をし、無事2,000人規模の研究大会を実施することが出来た。</li> <li>河合町民運動会への委員派遣など地域要望に基づいた特色ある活動を行うことができた。</li> </ul> <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修会等に積極的に参加し、推進委員の資質の向上に努める。</li> <li>引き続き市民ニーズに合った軽スポーツの普及に努める。</li> </ul>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号17)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ行事の推進	<p>スポーツ行事推進事業</p> <p>市民の参加しやすいスポーツ行事運営をスポーツ関係団体等に委託し実施することで、より多くの市民がスポーツに関心を持ち、健康づくりを図る機会を増やしていく。</p>	生涯学習課	<p>[H29決算額] 3,307千円</p> <p>①スポーツフェスティバル2017 期 日 平成29年10月8日 会 場 飛騨市森林公園一帯 内 容 体力測定、軽スポーツ、ウォークラリー、10種競技等 参加者 約1,500人</p> <p>②飛騨市ふるかわ元旦マラソン2018 参加者 1,036人</p> <p>③ふれあいソフトミニバレー大会 12/3開催 40名参加</p> <p>④第13回輝け飛騨少年剣士剣道・錬成会 小学生53名、中学生62名</p> <p>⑤第11回飛騨かわい剣道アカデミー 小学生57名、中学生34名</p> <p>⑥FC岐阜子どもサッカー教室(年2回) 参加者 1回目 8/4 124人 2回目 10/8 67人</p> <p>⑦第14回河合町民ふれあいスポーツ広場 8/6開催 68名参加</p>	<p>①新しくFC岐阜子どもサッカー教室を同日に行い、消防署の協力による救命講習を行う等、マンネリ化しないよう競技内容を見直すことが出来た。</p> <p>②元旦から市民の元気や活力を引き出せる意義のある行事に定着している。</p> <p>③参加者が年々減っており、開催が難しくなりつつある。</p> <p>④⑤飛騨かわい剣友会ならではの講師を迎えての意義あるアカデミーであり、事業継続により更なる少年剣士の育成に努める。</p> <p>⑥プロサッカー選手にサッカーやボール遊びを教えてもらい、サッカーへの関心が高まった。</p> <p>⑦子どもとお年寄りが一緒になってグラウンドゴルフを行い、世代間の交流ができています。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 18)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成 29 年度の目標	担当課	平成 29 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ団体の育成	<p>スポーツ団体育成事業</p> <p>スポーツ団体の組織づくりと強化を図り、競技力の向上、青少年の健全育成、スポーツ活動の普及等スポーツ振興、スポーツ団体の活動支援を行う。</p> <p>【支援内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付</li> <li>事務局支援</li> </ul> <p>【対象団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飛騨市体育協会</li> <li>飛騨市スポーツ少年団</li> <li>山之村だいこんマラソン実行委員会</li> <li>飛騨シューレ</li> </ul>	生涯学習課	<p>【体育協会】</p> <p>〔H 29 補助金額〕 2,263 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民スポーツ大会の実施、飛騨地区大会・県民スポーツ大会における選手団派遣を実施。</li> <li>本部組織と各町支部組織との緊密な連携、意思統一を図った。</li> <li>スポーツの振興・普及に尽力された市民を規定に基づき表彰した。(スポーツ功労者 6 名・特別表彰 5 名)</li> </ul> <p>【スポーツ少年団】</p> <p>〔H 29 補助金額〕 328 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者向け講習会を実施し、質の向上に努めた。</li> <li>団員向けリーダー研修を実施し、横のつながり、集団行動等を学ぶ機会を設けた。</li> </ul> <p>【山の村だいこんマラソン】</p> <p>〔H 29 補助金額〕 1,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9/10 開催 1,485 名の参加があった。</li> </ul> <p>【飛騨シューレ】</p> <p>〔H 29 補助金額〕 150 千円</p>	<p>【体育協会の成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市体育大会の開催、市外大会への派遣については、ほぼ例年並みに実施できた。</li> <li>一部の大会に参加人数の減少がみられるので、部会単位の底上げや地域を越えての合同開催等の検討の必要がある。</li> </ul> <p>【スポーツ少年団の成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リーダー研修会は、大変好評であり、数少ない横の交流ができる機会なので今後も継続していく必要性を感じた。</li> <li>各団とも、少なからず団員の減少、指導者不足の課題を抱えており、その対応策を全体で協議していく必要がある。</li> </ul> <p>【だいこんマラソンの成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者 1,000 名を越える大会であり、市内の魅力を発信する行事となっている。</li> <li>蜂の事故防止にコースを大きく変えたが、ランナーからは前のコースの方がよいという意見がある。</li> </ul> <p>【飛騨シューレの成果と課題】</p> <p>運動経験の少ない子どもにボールなどツールを利用したからだあそび等を通じ、からだの使い方を楽しく学ぶことができた。</p>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号19)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ活動の推進	ノルディックウォーキングの推進	<p>ノルディックウォーキング推進事業</p> <p>市民の健康意識の高まりを踏まえて、年齢問わず、個人でも気軽に取り組むことができるノルディックウォーキングを普及させる。</p>	生涯学習課	<p>[H29決算額] 147千円</p> <p>○5/27, 28 ノルディックウォーキング公認指導員資格取得講習 5名</p> <p>○ノルディックウォーク教室・体験会</p> <p>5/21 春の古川町ノルディックウォーキング 参加者 29名</p> <p>6/18 飛騨市ノルディックウォーキング教室 参加者 29名</p> <p>9/2 ノルディックウォーキング体験 参加者 21名</p> <p>10/15 秋の古川町ノルディックウォーキング教室 参加者 16名</p> <p>10/21 河合町ノルディックウォーキング教室 参加者 15名</p> <p>11/5 宮川町ノルディックウォーキング教室 参加者 17名</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各地区1回以上の教室を計画し、ノルディックウォーキングの存在を伝えることが出来た。参加者数は決して多くなかったが、参加された方からは大変好評を得ることができ、普及に向けて手ごたえを感じた。</li> <li>公認指導員の資格取得助成金を5名分予算化したところ平成29年度は5名の方が公認指導員の資格を取得した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の状況を踏まえ、教室の開催等を積極的に行い、根気よく普及に努めて行く必要がある。</li> <li>指導員養成等にも力を入れ、指導者を増やして普及活動を強化する必要がある。</li> </ul>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号20)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
図書館事業の推進	図書館の充実	<p>○図書館機能の充実事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入等事業 誰もが気軽に利用できる図書館を目指し、利用者ニーズにマッチした選書や質の高いレファレンス(調べもののお手伝い)サービスを提供するなど地域密着型の図書館を目指す。</li> <li>・自主イベント事業 これまで図書館に来館されたことの無い層をターゲットとした企画事業を展開することで、新たな図書館利用者の創出につなげる。</li> </ul>	文化振興課	<p>[H29決算額] 9,968千円 蔵書購入：4,576冊/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用者のニーズに合った図書選書に努めた。また本のリクエストには適宜応え、魅力ある蔵書を揃えた図書館を目指した。 来館者数：12万8,687名(市図書館)           ：2万8,474名(神岡図書館)</li> </ul> <p>[H29決算額] 603千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな図書館利用者の掘り起こしを目的に「歴史講座」や「ジャズ演奏」、「男女の出会いイベント」等のイベントを実施した。これまで図書館に来たことない方が来館するきっかけを通じて、図書館利用につなげた。イベント実施回数及び参加者は、延べ35回で2,356名にのぼった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館は快適な読書機会の提供をはじめ利用者が求める情報や生涯学習(趣味や文化)を深め豊かな生活を送ってもらうことを目的としている。図書館の蔵書は市民共有の財産であるので、蔵書管理は専用の「図書システム」を導入し、利用者自身がいつでも興味のある本が図書館にあるかどうかを検索することが可能となっている。</li> <li>・市民が求める多様なニーズに応えるべく、魅力のある蔵書の図書構成に心掛け、文化情報の発信や個々に応じた学びや調べものの解決を支援する図書館を目指す。そのためには県図書館で行われる職員研修への参加や他の図書館視察を行なうことでスキルアップを図り、より良い図書館の運営の実現につなげたい。</li> </ul>	A




事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号21)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
文化施設・文化交流施設の充実	美術館運営・文化施設の運営	<p>○美術館企画展・関連ワークショップ事業</p> <p>・美術館企画展等開催事業 新たな美術館運営コンセプトとして、多様な文化芸術を創造するアートセンターを目指すことになった。主なものとして、文化芸術に関わる展示活動・芸術活動・研究活動・人材開発面活動・記録活動などの総合的な市民の文化芸術活動に対応・支援する美術館の運営を目指す。</p> <p>・組紐体験文化交流事業 昨年からの伊賀市とのご縁の基、組紐技術の指導・実演などWS内容を充実させると共に地元組紐愛好家を育成する。</p>	文化振興課	<p>[H29決算額] 2,192千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お江戸のおしゃれPartⅡ 会期：56日 入館者数：964名</li> <li>・母娘四人展（市内作家） 会期：32日 入館者数：1,039名</li> <li>・石棒の聖地 塩屋を掘る 会期：38日 入館者数：939名</li> <li>・いぶし銀の収蔵庫展 秋冬編 会期：45日 入館者数：615名</li> <li>・春芽吹き夏涼み展 収蔵品展春夏編 会期：19日 入館者数：401名(年度またぎ)</li> <li>・企画展関連WS 7/30「デコナップ」、8/6「絵馬を描く」、11/12「歴史ツアー」他</li> </ul> <p>○美術館運営委員会：2回/年開催</p> <p>[H29決算額] 878千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖地巡礼に訪れた観光客に組紐シーンを疑似体験してもらうコーナーを「さくら物産館」に設置した。飛騨市ならではのおもてなしとして好評を博し延べ1,842名(月平均：約200名)の方々が体験した。組紐WSとして、組紐文化の本場である伊賀市から組紐職人を招き、本場の組紐技法に触れる機会を通じ、市内の組紐愛好家を育成した。</li> </ul>	<p>・美術館が開館してから11年が経ったことから、空調設備が老朽化し、故障する事態が起きた。修繕費用が多額のため、部分的な修繕を施すことで回復させたいと考えるが、美術館施設全体の老朽化は否めず、根本的な改修が必要と思われる。また、美術作品の収蔵庫については、開館当時から収納スペース不足という課題を抱えており、かつ空調設備が未設置のため、収蔵品の適切な保存・管理が十分ではない状態である。これらのことから美術館施設の抜本的な改修が大きな課題であり、今後岐阜県美術館職員等の指導助言を得て改修計画案を早期に策定する必要がある。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号22)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成29年度の目標	担当課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域の歴史や文化財の保護と継承	伝統芸能と伝統文化の継承・文化振興財の調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域歴史資源活用事業</li> <li>・デジタルアーカイブ事業</li> <li>・古川祭研究事業</li> <li>・江馬氏館跡整備活用事業</li> <li>・姉小路氏関連城館群(山城跡)整備活用事業</li> <li>・江馬館名勝指定記念イベント事業</li> <li>・埋蔵文化財発掘調査等事業</li> </ul> <p>上記事業を実施することで市民等に自分たちの住む町の歴史文化の価値を知ってもらう。</p>	文化振興課	<p>[H29決算額] 194千円 継承が危惧される集落の例祭の様子を映像で記録した。 [決算額] 1,435千円 古川祭の文献等の収集に努め歴史的背景を調査研究した。 [決算額] 456千円 専門委員会による調査・指導を受け、国指定史跡・名勝の保存活用計画策定の道筋を立てた。 [決算額] 194千円 姉小路氏関連の城館群の国史跡指定を目指し、専門委員会で保存活用の検討や現地指導を受け、山城イベントの開催やマップの作成、文化財サイトを開設した。 [決算額] 713千円 名勝指定を記念し、江馬氏館跡庭園のライトアップや専門家を招き講演会を開催した。 [決算額] 14,103千円 これまで実施していた古川・神岡区域の詳細分布調査の完了に伴い、遺跡地図を作成した。また、遺跡内で開発等に伴う試掘確認調査を4件実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江馬氏館跡庭園の名勝指定や山城セミナーを開催したことで、これまであまり知られていなかった歴史や歴史的価値を市内外に広くPRすることができた。自分たちの町の歴史を知ること誇りを育むと共に歴史好きな方々との交流人口の創出につながったことから、地域活性化への波及効果があった。</li> <li>・今後は県史跡「傘松城跡」を国史跡「江馬氏城館跡」に追加指定することや平成33年度を目途に国史跡指定を目指す姉小路氏関連城館群の総合調査を本格的に実施することで地域の歴史資源(山城)を活用した地域活性化を促進していきたいと考えている。</li> </ul> <p><b>文化財サイト⇒</b></p> 	A

様式第 2 号 (第 4 条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 2 3)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成 2 9 年度の目標	担当課	平成 2 9 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
心を豊かにする文化芸術の推進	文化や芸能にふれあう機会の提供 文化芸術関係団体の育成と連携	<p>○地域文化振興補助事業</p> <p>・文化振興補助事業 地域における文化及び芸術の振興を図るため文化・芸術活動を行う団体が主催される企画事業に対し、補助金を助成し文化振興を図る。</p> <p>・文化団体補助事業 市民の作品発表の場である「市美術展」の運営は、文化協会を主体とした実行委員会体制で毎年実施している。感性豊かな作品を広く募集・公開することで、市内の文化芸術活動を促進し、合わせて文化への機運の向上を図る。</p>	文化振興課	<p>[H 2 9 決算額] 1 9, 3 0 6 千円</p> <p>・市民に文化や芸術にふれあう機会を提供するため、文化関係団体と連携し、市民主体で行われる文化活動や文化交流を支援した。郷土愛を育み文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成を行い、市内における幅広い分野での芸術、文化活動の普及を図った。</p> <p>[H 2 9 決算額] 6 6 5 千円</p> <p>・飛騨市美術展開催補助事業では、感性豊かで優れた作品を広く一般募集を行い公開することで文化意識の浮揚を図った。出展数 1 3 6 点、来館者数 6 5 0 名</p> <p>・富山市との文化交流事業として「飛越交流展」を開催し、地域間交流により、豊かな文化・芸術への感性を育むことができた。(飛騨市からの出品数 4 4 点)</p>	<p>○補助申請の企画イベントの中には当該地域の恒例行事となっているものがあり、内容が前年度のものと同じとなっている事業が見受けられ、結果として来場者の固定化が感じられる。新規来場者が増加し広がりをもせるような創意工夫を凝らし、幅広い層の市民が来場することが望ましいと考える。</p> <p>○芸術文化の発展を推進するためには、発表の場の提供が必要と考えている。長年補助制度の実務を経験している市文化協会による「市美術展」の開催は、市民の文化芸術の振興に大いに寄与している。</p> <p>○平成 2 9 年度の飛越交流展は富山市の市民プラザで開催した。(会場地:交互開催)文化芸術面での交流を通じ、創作活動への相互刺激や今後の作品制作への意欲促進につながった。</p>	A